

神奈川県立横浜瀬谷高等学校（全日制課程普通科）における
スクール・ポリシー

1 グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

「持続可能な社会の創り手」として、これからの社会で活躍できる資質・能力の育成

- 社会課題の解決に向け、主体的に課題を見だし、考え、他者と協働して解決する問題解決能力
- 生きて働く知識・技能、未知の状況に対応できる思考力・判断力・表現力などの高い学力
- 責任ある行動が取れる力や新たな価値を創造する力
- 協調性や人を思いやる気持ち、対立やジレンマに対処する力、感情の抑制、レジリエンス等の社会情動的スキル

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

**生徒の進路目標の実現や大学等卒業後のキャリアデザインを意識したカリキュラムマネジメント
（「社会に開かれた教育課程」を実現した個別最適な学びと協働的な学び）**

【各教科・科目】

○外部教育機関との連携やビッグデータ、ICTを活用した「指導の個別化」と「学習の個性化」を図り、生徒が「主語」の「個別最適な学び」を行うことで、各教科・科目の見方・考え方を働かせて、生きて働く知識・技能の習得、未知の状況に対応できる思考力・判断力・表現力、問題解決能力、コミュニケーション能力等を育成する。

【総合的な探究の時間】 「Think Globally Act Locally」の実現

○3年間を通した「総合的な探究の時間」（未来共創ⅠⅡⅢ）で、50近い企業、行政機関やNPO、大学等の横浜瀬谷独自のコンソーシアム組織を活用した社会課題の解決に取り組むPBL（課題解決学習）を通じ、生徒が「主語」の「協働的な学び」を行うことで、生徒の心に火をつけ、「社会に開かれた教育課程」を実現して、「探究力」や自己肯定感を高める。

【特別活動等】

○社会参画や人間関係形成、自己実現の三つを視点として、ルールメイキングや地域社会へのボランティア、地域社会と協働する学校行事、HR活動や生徒会活動により、協調性や人を思いやる気持ち、対立やジレンマに対処する力、感情の抑制、レジリエンス等の社会情動的スキルを伸長させる。

※ 教育課程全体で個別最適な学びと協働的な学びに取り組み、各教科・科目、特別活動と総合的な探究の時間を往還することで、生徒が自ら考え自走し、希望する大学等の高い進路目標の実現を図る。

3 アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- 予測困難な時代に対応できる資質・能力を身に付け、自分の望む進路目標を実現したい生徒。
- 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ意欲のある生徒。
- 持続可能な未来に興味関心を持ち、チャレンジと失敗を繰り返すことで成長し続けたい生徒。